

2024年5月13日

第11回GX実行会議

出光興産株式会社

代表取締役社長 木藤 俊一

出光興産社長、石油連盟会長の木藤です。今回から参加させていただきますので、よろしくお願いいたします。

昨年来「GX推進法制定」、「GX推進戦略策定」、そして「GX経済移行債」を活用した投資促進策の策定など一連の手厚い支援策を構築いただきました。ひとえに、本会議でご議論いただいた成果であり、心より感謝するとともに、石油各社もSAF製造などGXの野心的取組に活用してまいります。

つづいて、「GX国家戦略」について申し上げます。

本戦略は、国際公約の2050年カーボンニュートラルの実現はもとより、我が国の産業競争力強化・経済成長の実現、安全保障体制の堅持・強化につなげていくことが重要であり、地に足の着いた議論をさせて頂く所存です。

まず、論点の最初にある「エネルギー」についてです。エネルギー政策の基本方針「S+3E」の観点から、国内の脱炭素電源の拡充・強化とともに、災害時においても国民生活を維持できる「強靱な供給確保」が必須です。中でも、貯蔵・輸送が容易で既存インフラを活用できる液体燃料の重要性を再認識したうえで、脱炭素と両立させた供給体制の構築が必要です。トランジション期における現実的な解としてのCCS推進も含め、今後の「エネ基」の議論は勿論、本会議でも「持続可能なエネルギーの供給確保」の実現に向け議論していただくようお願いいたします。

また、民間事業者がGXに全力で取り組むためには、事業の予見性を高め、野心的な投資を後押しして頂く必要に加え、法改正を含む規制・制度改革、環境価値に関する国際ルールの整備、一番重要である国民の皆様の理解の獲得が必要です。例えば、我が国のCO₂の約3割を排出する運輸部門がどのように変わっていくのか、それにより国民生活がどう変わるのか、GXの方向性と国民生活への影響を、より一層分かりやすく、国から示していただくことも重要です。

今後も責任あるエネルギー供給者の立場から、国民が安心して生活できる未来に向け、積極的に議論に参加させていただきます。

以上